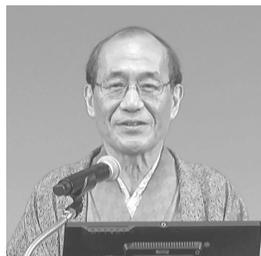


日本臨床心理士資格認定協会

令和5年度 心の健康・文化フォーラム

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会（河村建夫会長、藤原勝紀専務理事）は12月10日、国立京都国際会館を会場に「令和5年度心の健康・文化フォーラム」を開催し、臨床心理士有資格者と一般参加者の約1500

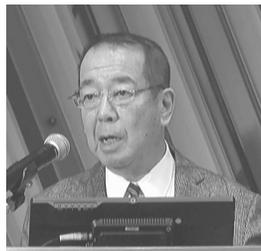
名が参加した。



門川京都市長



藤原専務理事



中根史郎氏



藤江文科審

藤原専務理事の開会挨拶、藤江陽子文部科学審議官が来賓挨拶と臨床心理士に関する文部行政施策の報告、門川大作京都市長が来賓挨拶を行い、「子どもとともに心を耕し文化を造る場を考える（心と命）」に寄り添う臨床心理士への期待、「極東の小さな島国の庭園文化が、なぜ世界で受け入れられるのか？」と題した中根庭園研究所所長で造園家の中根史郎氏による基調講演が行われた。午後からは「いま、文化を担う子どもの心と命の安全・安心を考える―臨床心理士の取り組みと可能性を拓く―」をテーマに、白百合心理・社会福祉研究所所長の青木紀久代氏の心理臨床報告、京都市教育相談総合センター所長の関智也氏、葛城市こども未来創造部こども・若者サポートセンター所長の川崎圭三氏の地域からの報告とメッセージがあり、コーディネーターの園田雅代氏（創価大学教授）、浅田剛正氏（新潟青陵大学教授）の司会のもと、コメンテーターの奇恵英氏（福岡女学院大学副学長）、皆藤章氏（奈良県立医科大学特任教授）とのディスカッションが行われた。

教職員の働き方改革のための「マザーズルーム」

公立学校共済組合、新たに3校に設置される

公立学校共済組合（丸山洋司理事長）で調査研究事業として実施している「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」。これを活用して今回、新たに3校に「マザーズルーム」が設置された。今年9月21日に北海道佐呂間町立佐呂間中学校に、9月25日に青森県立青森西高等学校に、12月1日に千葉県君津市立小糸小学校にそれぞれ設置された。12月12日には、丸山理事長と石井宏子君津市長が小糸小学校のマザーズルームを見学に訪れ、細家一夫小糸小学校校長や君津市教育委員会の担当者から説明

を受けた。

同事業は、教職員の職場環境の改善に向けた取り組みの推進を図ることと、共済事業を効果的・効率的に展開していくための取り組みのヒントを得ることを目的とし、具体的には、同共済組合が指定した教育委員会が実施する教職員の健康維持のためのマザーズルームやリフレッシュスペースの設置に付随する備品購入費用の一部（一つの教育委員会に対して50万円を上限）を措置する。また、マザーズルーム等において共済事業等の情報提供を行い、これらの取り組みに係る効果検証を実施する。マザーズルームは今後、さらに10校程度で設置される予定。



マザーズルーム入り口で石井君津市長と丸山理事長



小糸小学校「マザーズルーム」全景

また、マザーズルーム等において共済事業等の情報提供を行い、これらの取り組みに係る効果検証を実施する。マザーズルームは今後、さらに10校程度で設置される予定。